

## 「被災する」ということは、みんな一緒に参加して

『なごやボランティア楽集会』～しゃべり場・学び場・気づきの場～

『今や“他人ごと”じゃない！「多文化共生」を考える』の3回目。1回目「暮らす」ということは、みんな一緒に 2回目「学ぶ」ということは、みんな一緒に そして8月1日に開催された今回は「被災する」ということは、みんな一緒にです。

手にした講演チラシの案内文には『「ボランティア」と「多文化共生」に関心がある方や日ごろのボランティア活動を「多文化共生」の視点から学びたい方、ぜひ一緒に語り合い、そして新しい“気づき”を得る場にしませんか。』とありました。

私は「みどり多文化共生ボラネット」に所属しています。折りしも、毎年開催している「みどり多文化交流会」の企画を検討している中で、このコロナ禍で新しい生活様式を踏まえてどのような交流会が開けるのか、どのような交流会が必要なのかと模索していました。

『被災するのはみんな一緒に』『新しい気づき』の言葉に惹かれて参加しました。

当日配布された資料には災害現場の写真、災害時における諸問題、福祉と人道支援の参考書の紹介、平常時の取り組みの具体的な活動などが記されていました。‘おまけ’には3ページを使って、母語が日本語である私たちだけに通じる和製英語や、曖昧な表現（ないわけではない）などが紹介されていました。

“暮らす”“学ぶ”“被災する”を通して『みんな一緒に』みんな一緒なのだ、外国人だから日本人だから、の前に人として認め合う。ぶつかり合うこともある、通い合うこともある。根気よく、ねばり強く対話を重ねていけばいい。と気づき、せっかく学んだのだから、行動することにしようと思いました。

「行動してください！」と講師が言われた。「被災地へ飛んでいく？ボランティア活動を始める？ そんなことばかりではありませんよ。まずは自分にできることから、今日学んだことを誰かに話しましょう。3人・2人・1人でもいいです。行動しましょう。」

この講演を受けて、「みどり多文化交流会」は多文化共生の中での防災をテーマに企画を進めることとしました。

(みどり多文化共生ボラネット 浅田千佐子さん)

※ 上記の講演会にご興味のある方、資料をご希望の方はボラネットみどり事務局までお申し出ください。閲覧用の資料をご用意しています。

## 市ボラ連 関連ニュース

### 市ボランティア連絡協議会 「第5回 まなびの場」開催について

日時：令和3年1月24日（日）13：30～16：00

会場：名古屋市総合社会福祉会館7階（地下鉄名城線「黒川」駅から南へ約300m）

内容：検討中（交流企画ではなく、講演会など）

### 編集後記

今号は、こんなコロナ禍の中でも「会員の皆さんと繋がりたい」「情報を共有したい」というご要望を考えた内容で構成しました。

このかわら版が皆さんのお手元に届く頃には、状況が改善し、少しでも明るい兆しが見えていることを願っています。

<M.K.>



## ボラネットみどり かわら版 53号

2020.10.12 発行：ボラネットみどり

### ボラフェス、突然の中止決定！

去る2月21日金曜日午後3時過ぎ。翌日開催するボランティアフェスティバルの会場設営・準備のために会員の皆さんが続々集まって来ました。さあ、作業を始めよう！まさに準備に取りかかろうというその時になって決めた「ボラフェスの開催中止」。苦渋の決断ではありましたが、今振り返ってみると当時の状況から「妥当な判断」だったのではと思います。

3月に入ると公共施設の休館や閉鎖に伴ってさまざまなイベントや活動が全て中止となり、4月中旬には全国に緊急事態宣言が発出され、ステイホーム、不要不急の外出自粛、新しい生活様式など次々と措置が取られたのは皆さんもご存知の通りです。

ボラネットみどりも対応を話し合うため3月、4月に役員会を開いた以外は例会も総会も開催できませんでした。6月から三密を避ける、換気をするなど感染症防止対策を取って例会が再開されましたが、まだまだ本来の活動には戻れない状態が続いています。

いつもと違う中ですが、かわら版53号を皆さまにお届けします。

### ◇お知らせ その1◇

緑区社会福祉協議会(ボラネットみどり事務局)のメールアドレスが変更されました。

旧アドレス midori-shakyo@md.ccnw.ne.jp

新アドレス m-fukushi@nmidori-shakyo.jp

今年度のボラネットみどり事務局担当は渡辺さん、加藤さん（新人さん♡）です。

### ◇お知らせ その2◇

7月初旬、在宅サービスセンター玄関先に自動販売機が設置されました。

車椅子などに乗ったままでも利用しやすいユニバーサルデザインです。

ドリンク1本につき5円が赤い羽根共同募金に寄付されます。

価格もお値打ちに設定されています。

お立ち寄りの際はぜひご利用ください。



## 今後の活動予定

### ○ボランティアフェスティバルinみどり 令和3年2月27日（土）開催

会場となる徳重地区会館は施設利用規定として、収容人数制限（体育室225人）などさまざまな感染防止策が取られています。今までのように来場者を迎えて対面でのやり取りがむずかしい状態です。そのため今回は参加者をボラネットみどりの会員に限定し、グループの活動紹介などをパネル展示や実演発表で行なうことにします。

前回準備したピニャータのお披露目はできませんが、会員同士の交流をしましょう！

### ○スキルアップ研修会 令和3年3月 日程は未定

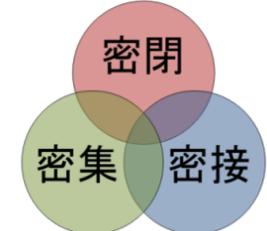
昨年度実施できなかったため、今年度改めて開催する予定です。

内容：緑児童館での学習支援活動について

ひとり親家庭、生活保護世帯の中学生を対象とした学習支援事業についてのお話



# コロナに負けない！ 私たちの取り組み



三密を避けて活動しましょう！

## ◇新型コロナウイルス関連の出来事◇

- 1月6日 中国武漢で原因不明の肺炎 厚労省が注意喚起
- 14日 WHO 新型コロナウイルスを確認
- 16日 日本国内で初めて感染を確認 (武漢に渡航した中国籍の男性)
- 30日 WHO「国際的な緊急事態」を宣言
- 2月3日 乗客の感染が確認されたクルーズ船が横浜港に入港
- 13日 国内で初めて感染者死亡 (神奈川県に住む80代の女性)
- 27日 全国の全ての小中高校に臨時休校を要請
- 3月9日 専門家会議「3条件の重なり避けて」と呼びかけ
- 24日 東京五輪・パラリンピック開催延期決定
- 29日 志村けんさん死去
- 4月7日 7都府県に緊急事態宣言「人の接触最低7割極力8割減を」
- 11日 国内の感染者1日最多700人超
- 16日 「緊急事態宣言」全国に拡大 (13都道府県は「特定警戒都道府県」に)
- 5月14日 「緊急事態宣言」8都道府県以外は解除 (25日全国で解除)
- 6月2日 「東京アラート」発令
- 19日 都道府県をまたぐ移動の自粛要請
- 7月 感染者数増加(第2波?)
- 22日 「Go To Travel」キャンペーン開始
- 28日 国内の死者 1000人を超える
- 8月 「流行はピークに達した」と対策分科会尾身会長の発言
- 28日 安倍首相退任会見
- 政府が新型コロナ対策の新たな方針を発表
- 9月16日 菅政権がスタート！そして…？

例会などで使用していた施設が閉鎖され、活動ができなくなった

「あそぼうさい まなぼうさい」「みどり多文化交流会」など3月に予定していたイベントが相次いで中止。高齢者施設、小学校のトワイライトスクールでの活動もストップ。

← 2月22日 第15回ボランティアフェスティバルinみどり 中止

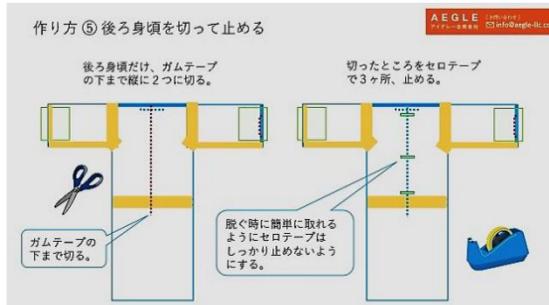


アベノマスク各戸配布 特別定額給付金支給

福祉体験をしていた小中学校から講師の依頼がなくなった！

← 6月より ボラネットみどり定例会再開

8月の例会でゴミ袋で防護服作りを実施。次回はコロナ禍での避難所運営訓練を実施し、会員のスキルアップにつなげます。



6月にZOOMを使っておはなし会を開催したところ、安心してお子さんと楽しんでもらえました。



スマートフォンに向かってスタッフが参加者の皆さんに話しかけています

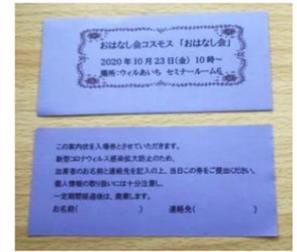
7月、使用できないユメリア徳重から社協に会場を代え、感染予防対策をして「夏まつり」を開催しました。



音訳はもともと自宅で行なう活動なので例会は開けなくてもたいいのはリモートワークで対応可。グループLINEで全員が繋がって会員間の情報の共有や意見交換を密にしています。

図書館で行なっていたおはなし会がすべて中止になった！

マスクでなく、マウスシールドを着用しておはなし会の練習を試みたが、あごが固定されて口が動かしにくいことを発見！でも、やるっきゃない！大人向けにウィルあいちなど広い会場で10月からチケット制のおはなし会を開催します！



手づくりのチケット参加者を限定して中止になった場合など連絡もスムーズに

例会で集まることが難しい中、自宅のできる取り組みとして、会員に呼びかけて不要のアベノマスクを回収し、社協に寄付しました。

フラダンスを一緒に踊っていた高齢者施設に立ち入りができず、お稽古を続けるだけの日々でしたが、「それではいけない」と思い立ちフラダンスの様子を動画で撮影。ビデオレターで「元気パワー」をお届けしました。



用語解説：  
**【リモートワーク】** 情報通信技術を活用し、時間や場所の制約を受けずに柔軟に働く形態のこと。在宅勤務、テレワークとも呼ばれる。  
**【ZOOM】** パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリのこと。  
**【COCOA】** 新型コロナウイルス接触確認アプリの略称 厚生労働省が提供するスマートフォン向けのアプリのこと。